令和6年度(2024年度) 学校における校務用パソコン及びGIGAスクール構想端末(SUNネット端末)の配置状況 No. 1

1 配置状況

小学校名	教師用(GIGA)(台)	児童用(GIGA) (台)	合計(台)
吹田第一	24	278	302
吹田第二	31	395	426
吹田第三	33	499	532
吹田東	26	326	352
吹田南	53	881	934
吹田第六	24	304	328
千里第一	46	811	857
千里第二	61	1,109	1, 170
千里第三	57	1,115	1, 172
千里新田	43	835	878
佐井寺	38	615	653
東佐井寺	35	495	530
岸部第一	26	263	289
岸部第二	38	562	600
豊津第一	57	1,010	1,067
豊津第二	31	480	511
江坂大池	30	430	460
山手	33	534	567
片山	53	901	954
山田第一	37	564	601
山田第二	35	614	649
山田第三	29	292	321
山田第五	18	175	193
東山田	56	938	994
南山田	52	905	957
西山田	29	422	451
北山田	32	465	497
千里丘北	55	981	1,036
佐竹台	44	766	810
高野台	25	297	322
津雲台	39	641	680
古江台	40	709	749
藤白台	47	854	901
青山台	24	321	345
桃山台	41	749	790
千里たけみ	30	416	446
小学校合計	1,372	21,952	23, 324

h		ı	
中学校名	教師用(GIGA) (台)	生徒用(GIGA) (台)	合計(台)
第一	54	883	937
第二	38	428	466
第三	24	248	272
第五	29	353	382
第六	43	542	585
片山	46	751	797
佐井寺	39	559	598
南千里	31	394	425
豊津	46	705	751
豊津西	34	415	449
山田	44	677	721
西山田	28	351	379
山田東	32	460	492
千里丘	61	1,037	1,098
高野台	34	447	481
青山台	27	372	399
竹見台	31	423	454
古江台	35	428	463
中学校合計	676	9, 473	10, 149
小・中 合 計	2,048	31, 425	33, 473

1 利用状況(校務用機)

教員が使用している状況(令和2年度から導入の各教室設置のプロジェクタを利用する場合も含む)

利用例

1	家庭にいる児童・生徒のSUNネット端末と学校の教員機をネットワークで接続し、Microsoft Teams を活用し、リアルタイムでオンラインホームルームやオンライン授業配信を必要に応じて実施している。
2	集合型の研修だけではなく、必要に応じてMicrosoft Teamsを活用したオンライン形式や、オンデマンド形式の研修を実施することができた。
3	授業支援ソフト「ミライシード」を活用することで、一人ひとりの児童・生徒の考えや意見を瞬時 に集約し、プロジェクタに投影することで、全体で共有することができた。

2 利用状況 (GIGAスクール構想による端末)

児童・生徒が使用している状況。

利用例

1	日々の授業において授業支援システム「ミライシード」内のオクリンク・ムーブノートを活用して、児童・生徒同士が、他者の考えと自分の考えとを比べたり、自分の考えを持つ上での参考にしたりすることができた。また他者の考えに対して、自分の考えや、考えの変容を述べることで、対話的な学びにつなげることができた。
2	体育の実技や音楽の歌唱や演奏において、動画を撮影し、客観的に自分の動きを観察することで自らの課題をとらえ、その後の活動に活かすことができた。自らの動きを観察するだけでなく、他者からアドバイスをもらったり、他者と自分とを比べたりすることで、よりよい動きや歌唱、演奏につなげることができた。
3	家庭にいる児童・生徒が、SUNネット端末でMicrosoft Teamsを活用して、学校・学年・学級で行われている教育活動にリアルタイムで参加することができた。また、児童・生徒が、校内でMicrosoft Teamsを活用して他校と交流するなど、学校外の人と関わる活動を行うこともできた。
4	SUNネット端末の持ち帰りを行い、調べ学習に活用したり、「ミライシード」内のドリルパークを活用したりすることで、主体的な学びにつなげ、日々の学習の定着を図ることができた。
5	自分が伝えたいことや調べたことを端末を活用して整理し、Microsoft PowerPointやKeynote、Canva等、自分の目的に合わせてアプリを選択して表現・発表をすることができた。